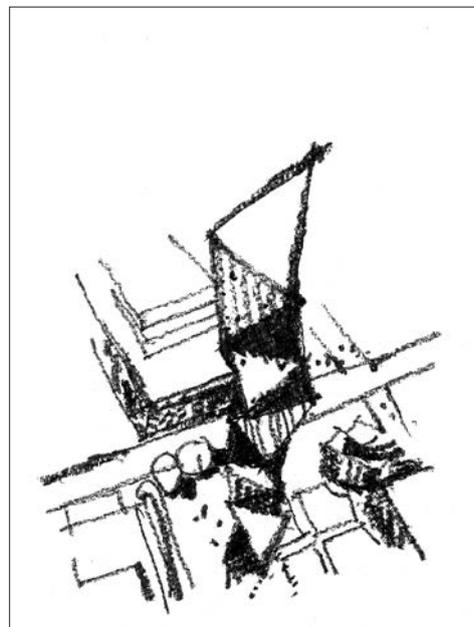




(2023~2024年度 国際ロータリー・テーマ)



世界に希望を生み出そう



「アート・タワー・ミト」

「パパ、ちょっと相談がある」、そのとき昭和のオヤジが思うこと

田中 祥之 (OA機器事務用品関連)

私には二人の娘がいますがそのうちの一人長女は現在27歳、某メーカーに勤務していてアパレルや縫製会社を目指すモノづくりのスマートファクトリー化を支援するコンサルタントとして国内外を飛び回っています。

縫製業のモノづくりは安価な材料や労働力を求めて国内は地方、国外でいえば東南アジアや新興国に拠点を構えることが多く、仕事柄その出張期間も長くなっていました。

年頃の娘をもつ父親としてはこうした長女の生活ぶりがとても心配でしたが、2年前一人暮らしをはじめるといので「おっ、そろそろか？」と彼女の結婚話に期待を寄せていました。そんな長女から昨年末、「パパ、ちょっと相談がある」とLINEが届きます。「えっ?! 急だな」、「どこの馬の骨だ?」などとこれまでの心配とは逆の父親の葛藤に直面することになります。

こうしたなか気持ちを抑えながら年末自宅のある川崎に帰ります。冷静さを装いつつ長女が話を切り出してくるのを待っていると「仕

事で3年間ベトナムに行くことにした」、「えっ! ベトナム、3年?・・・」。

帰国するころには三十路、結婚は遠のいて女性の幸せをつかめないのではないかなどと子離れできていない昭和のオヤジは思考停止、頭のなかは真っ白でした。ましてベトナムなんて社会主義の集権国家で長女の自由や安全は保証されるのか、ベトナムをよく知らない私には赴任に対する不安ばかりが頭をよぎります。しかし、「この赴任で自分自身を見つめなおし、もっと成長したい」という彼女の言葉で目が覚めます。男女平等や女性活躍の社会推進など理解していたつもりでも、いざ現実と直面すると本質を全く理解できていない自分に気づいたのです。

昭和のオヤジと平成生まれで令和を生き抜く長女、自身の個性や能力を発揮しつつ自己実現を目指そうとする彼女の意思と覚悟をこれからも父親として応援し続けます。

(文中に不適切な表現や誤解を招く表現があればお詫びします。)

No. 31 2024・4・2

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 清水 洋一 ■幹事 土子 仁志

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>

◇ したいことから すべきことへ

大月 章子 会員



私は、1969年12月6日生まれ 54歳 O型です。三人兄妹の真ん中の長女として生まれ、水戸で育ちました。自然豊かで食材も豊富、何より住みやすい環境の水戸が大好きです。

家族は24歳の息子1人とパートナーがいます。

幼少期は、5歳上の兄や友人と一緒に外で遊んでいました。兄は私に、よくいたずらをして面白がっていました。乳歯がぐらつき抜ける際、歯に糸を結ばれ何メートルも先の庭から引っ張り抜かれたり。吊ってきたザリガニの肉をおいしいから食べてみると言われたり。兄の部屋ではしゃぐ私に、両手両足の指先にアロンアルフアを付けられたりと、数々の思い出があります。

私の両親はそれぞれ、別々の商売をしておりました。父は現在私が継いだ茨城ベルトサービスを、母はフランチャイズの和菓子屋さんを営んでおり、年中仕事で忙しいため、3年生の頃から家事を手伝う様になりました。私が居ないとご飯が炊けない、洗濯が込めない、雨戸が閉められないそんな状況でした。

4年生の時に、母の仕事の裏方でお菓子の箱を詰めるお手伝いを始めました。働いた分の時給をもらい、お小遣い帳を付けるよう言われ「働かざる者物食うべからず」の教育で10歳からお小遣いはもらわず、働いてためていたのです。

中学生にもなると、少しずつ店舗へも出るようになり接客の楽しさを感じるようになっていきます。

高校生では、学校から帰るとお店を手伝う日が増えていき、益々、お客様に褒められ、喜ばれ、働くことの楽しさや、やりがいを感じていました。

高校卒業後は、OLを経験し寿退職を機に、肌荒れの経験から美容の仕事を始めました。お客様の肌をきれいにしあげると、自信が付きどんどん変わってきます。そんな仕事が好きでした。

現在の会社は、東日本大震災がきっかけで入社しました。跡継ぎのいない会社の社員は不安だろうと思い決心し入ったものの、当時は職人から怒鳴られることもしばしば、手を出したら噛みつかれる、サファリパークのようでした。

ですが、経営理念を作成してからは、先代との確執も乗り越え、今では私の「やるべきこと」に変化していきました。弊社の理念は「つなぐ」です。ベルトだけではなく沢山の想いを繋いで行く会社です。

これからも年輪経営を目指し、社会に役立ち、社員がイキイキできる環境を作っていきます。

◇ 箸を持って橋の端を渡る

川上 俊也 会員



私は那珂湊（現ひたちなか市）生まれ、海と那珂川のそばで育ちました。近くの湊公園は夤賓閣という徳川光圀公時代の水戸藩の別邸があった所。その跡地が子供のときの遊び場でした。海が望め、筑波山まで見渡せる絶景です。

高校は水戸一高へ。そのころ興味を持ったのが言葉。特に日本語。この道を究めたい、などと大それたことを考えるようになりました。大野晋さんという国語学者に惹かれ、大学は大野さんが教授をしていた学習院に入りました。

しかし、抱いていた夢と希望も長くは続きませんでした。5月か6月、国語学概論という講義。表題の「箸を持って橋の端を渡る」という一文が読めませんでした。箸と橋と端のアクセントの違いを明確にできなかったのです。

茨城がアクセントの崩壊地域であることを知ってはいても、自分ができない絶望感。この講義の担当教授から日本語研究でのアクセントの重要性を説かれ、この道をあきらめました。

そして違う道へ。言葉を使って思いを伝える仕事、新聞記者を目指そうと考えました。茨城新聞社では紙面編集や取材部門に配属され、本社や取手、東京などで記者として約30年。その後は営業、総務などの仕事。振り返ると、取

材先の方も営業先の方も、みな先生だったな、支えられてきたな、と感じています。

今年で13年。2011年3月11日、東日本大震災のときの新聞づくりについて触れます。

新聞制作はコンピューターを使います。電気が必要です。当時、万一に備えた8時間分の予備電源がありました。地震直後から停電が続く中、その電源を使い号外づくりを開始。しかし、輸送状況などから間もなく作業を終えねばならない状況に。12日付の茨城新聞は号外用に用意した紙面を使い4ページつくるのが精一杯でした。

当時、編集部門があったけやき台近辺は12日も13日も停電のまま。予備電源は枯渇。2日間とも宇都宮にある下野新聞社に協力を求め、社員が水戸から出向き紙面制作。輸送は県内の業者さんが宇都宮へ。新聞販売店の皆さんも奮闘。避難所にも新聞を届けることができました。

3日間ともぎりぎりの状況で、いずれも4ページ。何とか乗り切りました。たった4ページの新聞に、お叱りよりも励ましの声が多かったことが救われました。多くの方に支えられているのだ、と改めて感じた3日間でした。

例 会 報 告

4月第1例会

司会 小川(一)委員

◇ 退会挨拶



山本 圭介会員
SMBC日興証券の山本です。今回の人事異動で埼玉県の大宮支店に転勤となりました。2年間という短い間でしたが、歴史と伝統ある水戸RCに所属をさせていただき、

ありがとうございました。大宮でも大宮RCに所属いたします。後任も何卒よろしく願いいたします。

◇ 米山奨学生世話クラブ・カウンセラー委嘱状伝達

清水会長より、米山奨学生世話クラブ委嘱状がご披露されました。畠山 佳樹会員には、後日カウンセラー委嘱状が手渡されます。

◇ 会長の時間

清水会長

春めいて桜も咲きほころび始め、春を感じる季節になりました。本日の月信の方に大久保ガバナリーの対談がありますので、ぜひご一読ください。また、本日の理事会で千波湖水質浄化推進協会の報告がありました。15年という長きに水戸RCとしても関わってきたことに敬意を称します。山本会員も本当にお疲れ様でした。大宮でも頑張ってください。

今週の先人に学ぶですが、松下幸之助氏です。

「自らも楽しみ人々に喜びを与える。大切な人生をこうした心構えで過ごりたい。」

◇ 出席報告

任田委員

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
123名	82名	41名	68.91%

前週訂正出席率 77.78%

◇ 会員メイクアップ

3/21 ロータリーの友委員会・

友事務所合同会議 高沢 彰

3/27 水戸西RC 小林大次郎

北海道2500REC 豊崎 一彦

◇ にこにこBOX

二川会員

山本会員……2年間お世話になり、ありがとうございました。

北島会員……やっと桜が開花しました。わが家のブラジルの花イペーも開花間近です。

細井会員……桜も咲いて新年度スタートです。

上野会員……市民会館大ホールでバッハの名曲の素晴らしい演奏を聴きました！

関会員……ローターアクトの地区大会よろしくお祈りします。

高橋会員……当社も新たな期の始まりです。よろしくお祈りします。

岩間会員……水戸RCゴルフ同好会で優勝させていただきました。

福加会員……今年度もよろしくお願ひします。

中庭(彰)会員……よろしくお願ひします。

田所会員……篠崎さん、会長ご就任おめでとうございます。

石井会員……誕生日祝いをいただきました。お陰様で夫婦共々元気です。

大久保会員・増山会員・藤田会員・宮本(章)会員・秋葉会員……誕生祝ひありがとうございます。

阿部(歩)会員……誕生月になりました。

小林会員……妻の誕生日祝ひありがとう。

八文字会員……妻誕生祝ひありがとうございます。

岡崎会員……家内の誕生祝ひありがとうございます。

本日の合計	20件	110,000円
-------	-----	----------

◇ 財団BOX

豊崎 繁会員……財団の友献金(ポリオプラス)
(第10回) \$100 15,100円 (累計 \$7,000)

宮本 章会員……財団の友献金
(第4回) \$100 15,100円 (累計 \$2,400)

高尾 哲也会員……財団の友献金
(第7回) \$100 15,100円 (累計 \$1,700)

川崎 隆一会員……財団の友献金
(第4回) \$100 15,100円 (累計 \$1,400)

神尾圭太郎会員……財団の友献金
(第1回) \$100 15,100円 (累計 \$1,100)

鈴木 勝彦会員……財団の友献金
(第1回) \$100 15,100円 (累計 \$1,100)

本多 隆之会員……財団の友献金
(第4回) \$100 15,100円 (累計 \$400)

岩間 智也会員……財団の友献金(ポリオプラス)
(第2回) \$100 15,100円 (累計 \$200)

大月 章子会員……財団の友献金
(第2回) \$100 15,100円 (累計 \$200)

田所 久嗣会員……財団の友献金
(第1回) \$100 15,100円 (累計 \$100)

この計	10件	151,000円
-----	-----	----------

◇ 米山BOX

豊崎 繁会員……米山功労者献金
(第4回) 10,000円 (累計 540,000円)

宮本 章会員……米山功労者献金
(第8回) 10,000円 (累計 180,000円)

川崎 隆一会員……米山功労者献金

(第5回) 10,000円 (累計 150,000円)

秋葉 良孝会員……準米山功労者献金
(第8回) 10,000円 (累計 80,000円)

細井 伸二会員……準米山功労者献金
(第7回) 10,000円 (累計 70,000円)

上野 淳会員……準米山功労者献金
(第5・6回) 20,000円 (累計 60,000円)

本多 隆之会員……準米山功労者献金
(第4回) 10,000円 (累計 40,000円)

大月 章子会員……準米山功労者献金
(第1回) 10,000円 (累計 10,000円)

この計	8件	90,000円
-----	----	---------

◇ 4月定例理事会報告

と き 4月2日(火) 11:30

於 ホテルテラス ザ ガーデン水戸

- 議 題
- 1) 退会会員について
 - 2) 新会員候補者審議について
 - 3) 新会員候補者所属委員会について
 - 4) 事務局員について
 - 5) 4月・5月例会プログラムについて
 - 6) 会計報告について
 - 7) 千波湖水質浄化推進協会役員について
 - 8) 地区資金・基金及び協力金について

報 告 5月定例理事会

5月7日 11:30~12:00

ホテルテラス ザ ガーデン水戸



週報担当 佐藤平八郎 委員長

例 会 予 告

4月16日(火)

— イニシエーションスピーチ —

卓話「私の恩人と仲間」

福加 博人 会員

「私の自己紹介」

私が思う水戸のいいところ

松浦 元義 会員

4月23日(火)

— イニシエーションスピーチ —

卓話「これまでの歩み～2つのご提案」

田所 久嗣 会員

4月30日(火)

— 定款第7条第1節により休会 —

…… 例会欠席の方は、4日前までに事務局までご連絡下さい。……